

ご入学・進級おめでとうございます！

皆さん、入学・進級され、新たな気持ちで四月を出発されたことでしょうか。本当におめでとうございます。

四月は、木々も一斉に芽吹き、花咲き競う美しい季節です。ウツギの花(卯の花)が咲くから卯月だというそうです。

【神武天皇祭】四月三日

初代天皇、神武天皇が崩御されて今年で二六〇三年になります。



神武天皇が、橿原かしはらの地で日本の初代天皇としての位につかれたのは二月十一日。その時、日本国は、天照大神からいただいた国なので、その徳に伝え、正しさを養う心をひろめ、そのちに世界が一大家族のように仲良くしていこうという理想を述べられました。四月三日は、お亡くなりになった日です。

【昭和の日】昭和天皇誕生日 四月二十九日

昭和の日は、激動の日々を経て復興をとげた昭和の時代をかえりみ、国の将来に思いをいたす日。もともとは、昭和天皇のお誕生日でした。

昭和天皇は、「無私むし」と「慈愛じあい」の人として語り継がれています。その中でも、敗戦後のマッカーサーとの会見の話は、特に有名です。

大東亜戦争(太平洋戦争)で、日本はアメリカに負けました。これまでの世界の戦争では、負けた国

の最高責任者は命乞いをするのが普通でした。ところが、昭和天皇は「私の命はどうなってもいいからどうか日本の国民を助けて下さい」とご自分の命を投げ打って、日本国民を守ろうとされました。マッカーサーは、大変感動しました。

昭和天皇のおかげで、日本の国はなくならずに守られました。

昭和天皇御製 祭り (昭和五十年)

わが庭の 宮居みやいに祭る 神々に

世よの平たいらぎを いのる朝々

生命の教育講演会 十月二十六日(土)

講師・木村悠方きむらまさこ子こさんに決定！



新教連兵庫支部では、自分に誇りを持ち、親に誇りを持ち、祖国日本に誇りをもつ青少年を育成するため、一人でも多くの方々に生命の教育を知って戴くため、様々な学習会や研修、寺子屋等々を開催しています。

その中の一つに年一回、生命の教育講演会を開催しています。今年で四回目となります。今までは、新教連の講師にお願いしていましたが、今回は、木村悠方きむらまさこ子こ氏しにご講演戴くことになりました。御著書「いただきます」の中から、少し紹介させていただきます。

「あなたは食事の時「いただきます」と声に出していますか。「いいえ」の人はぜひ「いただきます」と言ってみてください。ただ言うだけでいいのです。言葉にするだけ・・・より充実した日々が待っています。

ます

先人達からずっと受け継がれてきた習慣には、実は大切な意味と幸せへのヒントが隠されていることを「いただきます」で実感していただけだと思います。私たちは動物や植物の『いのち』をいただいて生きています。食べ物、私たちのいのちを永らえさせてくれています。そして、どう食べるかが私たちの人生をつくっていくともいえます。食べ物に気を配るのと同様に、食べ方にも意識を向けていただけるとこれからの人生が変わることもあるかもしれません。

私は、この本を「みんなが幸せになってほしいなあ」という思いで書きました。「幸せになる」のは難しいことでも、特別なことでもない、自分のまわりの当たり前のことに幸せがいっぱいあることに気付いてほしいと思います。講演会に参加して下さった方から、よくこんな声を聞きます。「芸能人のお母さんの講演会だから興味本位で来たけれど、あたたかな気持ちになり、言われたことをやってみようと思いました」



(はしがきより) 私たちに生き抜く力を与えてくれ、愛されるヒントがいっぱいあったお話です。そして、自分が好きになります。

十月二十六日十四時、なでしこホールにて 第四回新教連兵庫支部 生命の教育講演会 テーマ 食といのちの大切な話「いただきます」

どうぞ皆様、ご参加下さいますよう、よろしくお申し込み申し上げます。(岩崎美智代)



はるからは ようちえんです いけるかな
ともだちたくさん できるといいな

年少 Y・S

☆ごにゆうえん、おめでとう！たくさんのもだ
ちのなかでたのしくあそんでね。

はじめての てらこやだよ

うたうのが たのしかったよ またきたいな

年中 K・Y

☆ゆうだいくんは、おうたがじょうずですね。

ようちえん ねんちようさんになるんだよ

おりがみがすき とくいなんだよ

年長 Y・M

☆みのりちゃんは、てさきがきようですね。

おはなしかい おわったあとで

ろうそくを ちよつとふうして きえたんだよ

年長 N・Y

☆ろうそくがきえるとき、おねがいごとをしてね。

そつえんしき さみしくなかった

一年生 ともだちできるか たのしみだな

小学一年 M・S



☆ぴかぴかの一年生ですね。たのしい小学校生活
が始まりましたね。

二年生 かん字たくさん かきたいな
かけざんももつとやりたいな

小学二年 Y・T



☆やる気まんまんですね。勉強は楽しいですね。

三年生 友達すぐにできるんだ

すきな子といっしょに なりたいな

小学三年 N・E



☆クラスがえ、どうでしたか。友だちがすぐにで
きてすばらしいですね。

もうすぐで 五年生になるよ たのしみだ

たのしいクラス つくってみよう

小学五年 M・A

☆いよいよ高学年ですね。協力する楽しいクラス
にしてくださいね。

もうすぐで 中学生だ うきうきだ

とても楽しみ 中学生活

中学一年 M・U



☆中学生活が始まりますね。がんばってね。

卒業し 長いと思った 春休み

あつという間に 終わりそうだ

中学一年 N・K

☆春休みも終わり、中学生活が待っていますね。

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集 第五

梅花の歌三十二首 序

天平二年の正月の十三日に、帥老の宅に

あつまりて、宴会を申ぶ。

時に、初春の令月にして、

気淑く風和ぐ。

梅は鏡前の粉を披く、

蘭は珮後の香を薫らす。

(大意)

天平二年正月十三日、帥の老の邸宅に集まっ
て宴会をくりひろげた。折しも、初春の佳き月
で、気は清く澄みわたり風はやわらかにそよい
でいる。梅は佳人の鏡前の白粉のように咲いて
いるし、蘭は貴人の飾り袋の香のように匂って
いる。

今回は、五月二十五日(土)、六階和室です。

(文責・藤波)